

中河内

東大阪市支援教育研究会作品展

東大阪市支援教育研究会が例年開催している「支援学級児童・生徒の作品展」が東大阪市総合庁舎の多目的ホールで、1月24日（土）、25日（日）、26日（月）の3日間行なわれました。これは、東大阪市の支援教育について、保護者や地域の方々に理解を深めていただきたいと考え、市内の小中学校の支援学級で学ぶ、児童・生徒の絵画・工作・書道・写真・貼り絵などの作品を展示しているものです。

今年は、中学校20校、小学校48校と府立東大阪・八尾支援学校が参加出展しました。場所を総合庁舎に変えて4年目になり、地域の方にも定着してきたため、約530名という多くの方々が見に来て下さいました。児童の中には、自分の作品を誇らしげに家族に紹介する子や、作品の「ポニョ」を見て歌ったり、踊ったりする子もいました。感想でも「作品一つ一つに一生懸命作った努力の結晶と喜びが伝わってきました。何かに打ち込む楽しさをこれからも学んで欲しいです。」「どの作品もとても凝っていて、すばらしい作品ばかりでした。毎年、家族で楽しみに見に来ています。」等と多く寄せて下さいました。

3日間という短い期間でしたが、子どもたちが楽しみながら一生懸命制作した作品を多くの方々に見てもらうことができた「作品展」でした。

